

Web2.0ワークショップ報告

法林 浩之

日本UNIXユーザ会
hourin@suplex.gr.jp

もくじ

- 自己紹介
- jusの紹介およびInternet Weekとの関わり
- Web2.0ワークショップ開催の経緯
- イベント全体および各セッションの報告と感想

自己紹介

- 法林浩之(ほうりんひろゆき)
- 詳しくは <http://www.suplex.gr.jp/~hourin/> 参照
- あるいはGoogleで「法林浩之」
- 1992年から日本UNIXユーザ会(jus)幹事
- 2000年からInternet Week実行委員
- 講師/発表者よりも、運営/司会を担当することが多い

jusってどういう団体？

- <http://www.jus.or.jp/> によると...
 - 「UNIX及びオープンシステムを中心とした計算機関連分野の技術/文化/産業の健全な育成を推進し、広く社会の発展に貢献することを目的に活動する非営利団体です」
 - 「日本のUNIX及びオープンシステムに関するユーザグループの草分け的存在であり、UNIXユーザを中心とする会員がさまざまな活動を行なっています」

- **草分け**
 - 1983年設立
 - 結成24年目

- **さまざまな活動**
 - 普通の団体はある分野を対象に活動する
 - jusはとうの昔にそういう概念を捨てました

活動の具体例

- '80後半 ~ '90前半: インターネット時代
 - UNIX Fairでの相互接続実験
 - その頃からパシフィコ横浜使っていました

- '90後半 ~ '00前半: オープンソース時代
 - オープンソースまつりin秋葉原
 - KOF(関西オープンソース)
 - コミュニティ参加型イベントの先駆け

- 2000年代中頃 ~ : Web時代
 - Lightweight Languageイベント
 - Web系プログラマーが集結
 - 今年はずいぶんプロレスのリング上でイベントを開催

- 時代に合わせて「なんでもあり」で活動してきた

jusとInternet Week

- jusは、Internet Weekで10年間イベントを開催し続けている数少ない団体のひとつ
 - おそらくJPNIC,IAJapan,jusのみ

- Internet Weekにおけるjusイベント
 - 1997-1999: インターネットコンファレンス
 - 2000: PHPワークショップ
 - 2001-2003: BSD/Linux Day
 - 2004: Web and Internet Applications Day
 - 2005: Enjoy! Mobility Day
 - 2006: Web2.0ワークショップ

- 脈絡なし、節操なし
 - なんでそうなるの？

Internet Weekにおけるjusの役割

- **他の団体は「お家芸」がある**
 - JPNIC といえば「IPアドレス」「DNS」など
 - JNSA, JPCERT といえば「セキュリティ」
 - JAIPA といえば「法律」

- **jusのお家芸は「なんでもあり」**
 - 他団体に取り上げない話題を扱う

- **結果的に「その他の話題」を扱う役割を担うことが多い**

今年のテーマ選定

- Web系技術の進歩は見逃せない
- 2004年「Web and Internet Applications Day」
 - blog, Wiki, SNS の3セッションを実施
 - はてな vs tDiary vs Movable Type、mixi vs GREE社長対決など実現
- 他に取り上げる団体もないのでもう一度jusで

Web2.0

- 2年前にはなかった言葉
- 賛否両論
- jus的には賛でも否でもない
- 取り上げたいテーマを手短に表現できるので使わせてもらった
 - Web and Internet Applications = 29バイト(スペース含む)
 - Web2.0 = 6バイト
 - 29バイト 6バイト: データ量80%減!
- 「Web2.0」な中でも「jusらしさ」を
 - 「jusらしさ」 = 「視野の広さ」
 - 直接的なWeb2.0の話題にとどまらず、それを支えるインフラや派生分野の話題も採用

開催概要

- **日時:** 2006年12月6日(水)9:45-17:30
- **場所:** パシフィコ横浜 502会議室
- **参加者数:** 145人
- **公式Webサイト:** <http://www.jus.or.jp/iw2006/>
 - ブログ形式にしてみた
 - 参加された方のコメントやトラックバック歓迎
 - ビデオも動画共有サイトで公開予定

プログラム

- 「ウェブサービスの次世代とアマゾンのウェブサービス概念」
 - エマーソン・ミルズ(アマゾンジャパン株式会社 ウェブサービス日本担当)
- 「Web2.0時代のサーバ仮想化技術について」
 - 油谷暁(奈良先端科学技術大学院大学 情報科学センター)
- 「一歩進んだ位置情報 - 位置情報デバイスとデータストア -」
 - 大塚恒平(「ここギコ!」ブログ管理人)
- 「非WebとWebのMashup - Web2.0がもたらす真の衝撃とは」
 - 小川浩(フィードパス株式会社)
- 「楽天におけるオープンソースソフトウェア活用への取り組みについて」
 - 川村敦(楽天株式会社)
- 「Plaggerで学ぶ、初めてのRSS/Atomアグリゲーション」
 - 竹迫良範(Shibuya.pl/サイボウズ・ラボ株式会社)
- 「パネルディスカッション: 動画共有サービスの現状と将来」
 - 時澤正(ワッチミー!TV)
 - 山田由希美(GREE)
 - 段野光紹(ClipLife)
 - 司会: 小山哲志(日本UNIXユーザ会)

「ウェブサービスの次世代とアマゾンのウェブサービス概念」

- 講師: エマーソン・ミルズ(アマゾンジャパン株式会社)
- Amazon Web Service(AWS)の紹介といくつかのケーススタディ
- 一貫した主張: 「Webはプラットフォーム」
 - 基礎となるWebサービスを自由に組み合わせて作っていく
 - Webの標準技術およびオープンソースの利用とAPIの公開が重要

「Web2.0 時代のサーバ仮想化技術について」

- 講師: 油谷 暁(奈良先端大)
- 1台のハードウェアに多数のホストを仮想的に構築し各種サーバとして運用
- 仮想化技術の解説
- VMWare ESX Serverの紹介
 - 大学にVPNを張って実演
- 多数のホストを作るだけなら簡単
- 激しい利用にどこまで耐えられるかはこれから

「一歩進んだ位置情報 - 位置情報デバイスとデータストア -」

- 講師: 大塚恒平(「ここギコ!」ブログ管理人)
- 携帯電話からの位置情報取得方法と、位置情報処理ツール (OpenGISなど)の紹介
- 仕事でやってるわけでもないのにやたら詳しい!

「非WebとWebのMashup - Web2.0がもたらす 真の衝撃とは」

- 講師: 小川浩(フィードパス株式会社)
- Web2.0を「Webの進化」として説明
 - Webのプラットフォーム化
- マッシュアップの今後を予測
 - 従来はWebサイト同士のRemix
 - 今後はWebと「モノ」のRemix
 - ▷ ナイキの例などを紹介
- スライドの字が大きく絵も多い
 - 昼食直後でも眠くならない!

「楽天におけるオープンソースソフトウェア活用への取り組みについて」

- 講師: 川村敦(楽天株式会社)
- 大規模Webサイトの開発/運用事例
- Linux、Apache、PHP、MySQLを使用
- オープンソースを積極活用しているが手法としてはオーソドックスな印象

「Plaggerで学ぶ、初めてのRSS/Atomアグリゲーション」

- 講師: 竹迫良範(Shibuya.pl/サイボウズ・ラボ株式会社)
- Perlで書かれたRSS集約/整理ツール
- RSSを集めて(あるいは生成し)自分好みの形式に変換し、常用ツールに出力/通知する
 - 例えば、自分のよく読むブログやmixi日記の新着が届いたらGmailやケータイに通知する
- 構造的に洗練されている
- 情報整理の未来形

「パネルディスカッション: 動画共有サービスの現状と将来」

- **講師:** 時澤正(ワッチミー!TV)、山田由希美(GREE)、段野光紹(ClipLife)
 - さすがにYouTubeの人は呼べませんでした
- **司会:** 小山哲志(日本UNIXユーザ会)
- **国内の動画共有サービスの紹介とフリーディスカッション**
- **ClipLife**
 - NTT系
 - コメントや再利用など共同作業志向
- **ワッチミー!TV**
 - フジテレビ系
 - 局による編集が入る
- **GREE**
 - SNSのフォトアルバム機能
 - ケータイから出せるなど個人的記録志向
- **ディスカッション**
 - サービス側が思っていた以上にユーザには好評
 - 課題は画質と著作権管理

イベントを終えて思ったこと

- 昔はいろんなアプリケーションがありました
 - メール, NetNews, Web, ftp, ストリーミング, IRC, whois, finger, archie, etc,...
- それぞれのアプリケーションにプロトコルとサーバとクライアントがあった
- この10年の間に淘汰が進んでHTTPとWebインターフェースに統合されつつある気がする
- 結果として「インターネット」というインフラの上に「Web」というもうひとつのインフラが形成され、Webへの情報集約とユーザの依存がみられる

Webへの情報集約とユーザの依存

- NetNewsはspamに埋もれてみんな使わなくなった
- メールもspamに埋もれて使えなくなりつつある
 - 今やメールよりもmixiのメッセージの方が確実に返事がもらえる
- jus幹事会の出欠もブログに書いて連絡
- ストリーミングさえも動画共有サイトに置き換わる？
- Webへの依存の是非はどうでもいい
- この状況に対して僕たちは何をすべきかを考えていきたい

インターネットに対する要望

- 参加者にアンケートで聞いてみた
- 質問: 「Webサービスを運営(あるいは利用)する立場から、これからのインターネットに対する期待や要望をお聞かせください」
- 回答をまとめると以下3つに分類される
 - 可用性の向上
 - ▷ いつでもどこでも誰でもどんな端末でも使える
 - ▷ 操作性の向上とブラウザごとの差異の解消
 - ▷ コンテンツの充実(特に映像/音楽)
 - 安全性の向上
 - ▷ spamが流通しないメール環境
 - ▷ 情報源となる人が情報の使われ方を制御する仕組み
 - ▷ 場が荒れないようにするための仕組み
 - ▷ 間違った(DNSなどの)設定を強制的に直す仕組み
 - コスト
 - ▷ サービス提供コストの削減
 - ▷ ユーザから金を取れる仕組み

まとめ

- Web2.0ワークショップの報告をした
- jusの特色と、それを踏まえた開催経緯の紹介
- 各セッションの様子と感想を紹介
- 引き続きパネルディスカッションもよろしく
- ありがとうございました